

年 組 名前：

問1

海洋研究開発機構が、レアアースの採掘試験を行い、貴重な「中重レアアース」が検出された場所を教えてください。

.....

問2

今回の採掘試験の結果を踏まえ、政府は、どのような検討を行いますか。

.....

.....

問3

高市首相が、開発実証を速やかに進めるよう指示した理由を教えてください。

.....

.....

.....

.....

問4

今回の調査で検出された「中重レアアース」は、どのように用いられる物質ですか。

・イットリウム：

・ガドリニウム：

・ジスプロシウム：

南鳥島沖に貴重レアアース

海洋機構検出 試掘量の50%超

海洋研究開発機構は24日、地球深部探査船「ちきゅう」が南鳥島（東京都小笠原村）沖の深海底で実施したレアアース（希土類）の採掘試験で、採取した泥から、より貴重な種類でハイテク製品に不可欠な「中重レアアース」を複数検出したと発表した。レアアースの採取量の約54%を占めたという。総量は明らかにしていない。

同日の記者会見で、石井正一・内閣府プログラムディレクターは需要が高い種類のレアアースが多く含まれていたとして「大きな価値がある」と思っている」と述べた。経済性は現段階では判断できないとした。

結果を踏まえ、2027年2月に同じ海域で本格的な採掘試験を実施する。政府は28年3月までにコスト面を含め産業化への検討を行う。費用対効果や、経済安全保障面とのバランスが課題になりそうだ。

経済産業省などによると、日本が輸入するレアアースの大半は中国由来。中国は外交カードとして輸出規制をしており、安定した供給元の確保が課題となっている。高市早苗首相は今年6月の会合で開発実証を速やかに進めるよう指示した。

検出したレアアースの内訳は、発光ダイオード（LED）などに使われるイットリウムが29・9%、原子炉の制御材に用いられるガドリニウムは4・9%、電気自動車（EV）モーターに必要なジスプロシウムが4・6%となった。中重以外の約46%は、ネオジムなどの「軽レアアース」だった。

（2026年7月25日付 山梨日日新聞 20面）